

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	更生保護（Offenders Rehabilitation）		
ナンバリングコード	E30933	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 応用レベル 社会福祉
単位数	2	配当学年 / 開講期	4 年 / 前期
必修・選択区分	選択：経営経済学部 コース選択必修：情報メディア学科 情報コミュニケーションコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E043301	クラス名	-
担当教員名	鈴木 照夫		
履修上の注意、 履修条件	権利擁護と成年後見を併せて受講することが望ましいです。 講義内容をしっかりとノートにとってください。 私語をしないようにしてください。 携帯電話等は電源を切って鞆の中にしまっておいてください。		
教科書	特になし		
参考文献及び指定図書	講義の進行にともなって適宜紹介します。		
関連科目	権利擁護と成年後見、憲法、心理学、発達心理学、臨床心理学、社会学		

○基本情報		
授業の目的	相談援助活動において必要となる更生保護制度および刑事司法・少年司法分野の組織、支援団体、専門職に就いて学び、関係機関との連携のあり方について理解することです。	
授業の概要	下記の3点を主たる内容とします。 1. 相談援助活動において必要となる更生保護制度について理解する。 2. 更生保護を中心に、刑事司法・少年司法分野で活躍する組織、団体および専門職について理解する。 3. 刑事司法・少年司法分野の他機関等との連携のあり方について理解する。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準（合計100点）		
到達目標の観点	到達目標	テスト （期末試験・中間確	提出物 （レポート・作品等）	無形成果 （発表・その他）
【関心・意欲・態度】	相談援助活動における更生保護制度の意義を考えることができる。	20点		
【知識・理解】	更生保護制度に関する基本的知識を身につけている。	60点		
【技能・表現・コミュニケーション】	更生保護制度の役割を的確に説明することができる。	10点		
【思考・判断・創造】	現代社会における更生保護制度の課題を論理的に考えることができる。	10点		

○成績評価の補足（具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法）
課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。

○その他

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名 担当教員	更生保護（Offenders Rehabilitation） 鈴木 照夫	授業コード	E043301
学修内容					
1. オリエンテーション					
講義内容、講義の進め方、受講上の注意、参考文献、到達目標、評価方法等について説明します。また、更生保護の意義と対象者について解説します。					
予習		講義資料をノートに筆写し、よく読み込み理解する。			約2時間
復習		ノート整理			約2時間
2. 更生保護制度の概要(1)					
更生保護制度の仕組みについて理解します。					
予習		講義資料をノートに筆写し、よく読み込み理解する。			約2時間
復習		ノート整理・更生保護の意義についてレポート作成			約2時間
3. 更生保護制度の概要(2)					
仮釈放等制度、生活環境の調整、更生緊急保護、恩赦について学びます。					
予習		講義資料をノートに筆写し、よく読み込み理解する。			約2時間
復習		ノート整理・演習問題			約2時間
4. 更生保護制度(3)					
演習問題の解説を行います。					
保護観察および更生保護制度における犯罪予防活動と犯罪被害者への支援について学びます。					
予習		講義資料をノートに筆写し、よく読み込み理解する。			約2時間
復習		ノート整理・演習問題			約2時間
5. 更生保護制度の担い手					
演習問題の解説を行います。更生保護制度において活動する専門職、制度を支える更生保護ボランティア等について学びます。					
予習		講義資料をノートに筆写し、よく読み込み理解する。			約2時間
復習		ノート整理・演習問題			約2時間
6. 更生保護制度における関係機関・団体との連携					
演習問題の解説を行います。					
更生保護制度における関係機関・団体が、具体的にどのように連携しているかについて学びます。					
予習		講義資料をノートに筆写し、よく読み込み理解する。			約2時間
復習		ノート整理・演習問題			約2時間
7. 医療観察制度の概要					
演習問題の解説を行います。					
医療観察制度の対象者、社会復帰調整官の役割について学びます。					
予習		講義資料をノートに筆写し、よく読み込み理解する。			約2時間
復習		ノート整理・演習問題			約2時間
8. 更生保護の実際					
演習問題の解説を行います。					
保護観察官および社会復帰調整官の業務の実際について、事例も交えて学びます。					
予習		講義資料をノートに筆写し、よく読み込み理解する。			約2時間
復習		ノート整理・更生保護制度の課題についてレポート作成			約2時間

○授業計画	科 目 名	更生保護（Offenders Rehabilitation）	授業コード	E043301
	担当教員	鈴木 照夫		
学修内容				
9. 期末試験				
第1週から第8週までの内容について試験を実施します。				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
10.				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
11.				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
12.				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
13.				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
14.				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
15.				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
16.				
予習			約2時間	
復習			約2時間	